

平成三十年度 江戸川看護専門学校 入学試験問題

国語  
(第一回試験)

注意

1. 指示があるまで開かないこと。
2. 試験時間は五十分とする。
3. 受験番号、氏名を解答用紙に正確に記入すること。
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. その他の注意事項は、試験官の指示に従うこと。

一

次の①～⑩の各文中の傍線部のカタカナを漢字にせよ。

- ① グレツな行為を非難する。
- ② グウゼンの一致。
- ③ 一時間のキュウケイ。
- ④ 憲法をジュンシユする。
- ⑤ 大きなギセイを払う。
- ⑥ 試合にセキハイする。
- ⑦ 山でソウナンする。
- ⑧ 飛行機がツイラクする。
- ⑨ 巨匠の作品をモホウする。
- ⑩ ロウデンによる火災。

二

次の①～⑤の言葉の意味を選択肢から選び、記号で答えよ。

- ① システム
- ② モラトリアム
- ③ インテリゲンチア
- ④ プロセス
- ⑤ ダイナミズム

- ア 過程
- イ 体系
- ウ 活力
- エ 仕組み
- オ 猶予期間
- カ 知識人

三

次の( )の中のカタカナを漢字にして四字熟語を完成させよ。

- ① 戦国の世は(ゲンユウ)割拠の時代であった。
- ② 彼の話に皆は抱腹(ゼットウ)した。
- ③ 前代(ミモン)の出来事が起こった。
- ④ (フエキ)流行とは、芭蕉の文学理念である。
- ⑤ 旧態(イゼン)とした体制。

四

次の語句の意味として最も適切なものをそれぞれの選択肢から  
選び、記号で答えよ。

① 麒麟児

- ア 人々を統率する力に秀でた若者
- イ 意気盛んな若者
- ウ 人並み外れた魅力をもった若者
- エ 優れた才知をもった若者

② 健啖ぶり

- ア 盛んによく食べる様子
- イ 元気でよくしゃべる様子
- ウ 物事にこだわらない様子
- エ 明るく朗らかな様子

③ 狡猾

- ア ずるがしこいこと
- イ 洞察力の鋭いこと
- ウ 冷酷なこと
- エ 情熱的なこと

④ 些末な事柄

- ア 末端的で特殊な事柄
- イ 正確さに欠ける事柄
- ウ 取るに足りない事柄
- エ 心情的で微妙な事柄

⑤ 潮時

- ア 満潮の時刻
- イ ふさわしい時期
- ウ 飽きてきた頃
- エ 手を引く機会

五

次の語句の対義語を後の語群から選び、カタカナを漢字にして答  
えよ。

- ① 入門 …… ( )
- ② 否定 …… ( )
- ③ 絶対 …… ( )
- ④ 傑作 …… ( )
- ⑤ 普遍 …… ( )

【語群】

ダサク・ソウタイ・トクシユ・イツパン  
コウテイ・ハモン

六

次の文学史について各設問に答えよ。

① 次の選択肢の中から芥川龍之介の作品を一つ選び、記号で答えよ。

- ア 山月記                      イ ころも
- エ 地獄変                     オ 舞姫
- ウ カインの末裔

② 次の選択肢の中から葉山嘉樹の作品を一つ選び、記号で答えよ。

- ア セメント樽の中の手紙                      イ 走れメロス
- ウ 桜の森の満開の下                            エ 或る阿呆の一生
- オ 蟹工船

③ 次の選択肢の中から坂口安吾の作品を一つ選び、記号で答えよ。

- ア 外科室                     イ 白痴
- エ 痴人の愛                   オ 野菊の墓
- ウ 伊豆の踊り子

七

次の文章を読んで後の問一～問六の設問に答えよ。  
句読点も一字として数えるものとする。

著作権の関係により掲載不可

著作権の関係により掲載不可

著作権の関係により掲載不可

著作権の関係により掲載不可

# 著作権の関係により掲載不可

(野村雅一『身ぶりとしぐさの人類学』より)

\*アセンブリイ・ライン……大量生産の流れ作業の列

\*胚胎……始まること

問一 二重傍線部①～⑦のカタカナを漢字にし、漢字は読みをひらがな

で答えよ。

問二 文中の空欄 **A** ～ **C** それぞれに次のいずれかの語を入

れ、記号で答えよ。

ア 需要    イ 供給

問三 傍線部 i 「すぐれて近代的慣行である行列には独特の論理と構造

がある」とあるが、それはどのような考え方に基づいているのか。

文中から二カ所探し、それぞれ十字以内で抜き出して答えよ。

問四 傍線部 ii 「そんな場合」とは、何がどうなる場合か。二十五字以

内で説明せよ。

問五 傍線部 iii 「公共の場での効率と平等原理のためにわたしたちが支

払う代償なのだ」とあるが、行列に並ぶことで生じる「代償」とは

どのようなことか。文中の表現を用いて四十字程度説明せよ。

問六 傍線部 iv 「民主主義には一定の均質性が必要だ」ということを説

明した次の文の空欄に入る語を文中から四字で探し、抜き出して答

えよ。

民主主義の基本は ( ) ( ) であるということ。

